

【山城】湯河原 新崎川 中尾沢 幕岩

【日程】2016年4月16日 土曜日

【メンバー】CL 上茂 小原 澤田淳 小俣 萱野香 吉川

【行程】5時千葉出発 幕山駐車場 7:30～大石ヶ原～白銀林道分岐点～中尾沢入渓～六方の滝 10:00～駐車場に戻る 13:00 2時クライミングエリアへ～17時終了

幕岩にも遡行対象となる沢があった。公園内を流れる新崎川の上流の中尾沢。あまり知られてないようだが、きれいな滝があるらしい。クライミングでは何度も来ているが、春の華やかな彩の季節に、岩だけでなく幕山周辺の散策もいいかなと思い、沢の足慣らしのつもりで計画してみた。中尾沢の遡行はもう少し季節が進めば水流突破もよさそうだが、今は覚悟が要りそうだし時間も読めないということで、クライミングする時間も取っておきたいという私の欲深な考えである。

7:30頃幕山駐車場に到着し、沢の準備をする。管理棟の横の階段を登り、林道を歩いてゆく。この周辺は私にとっては見慣れた風景である。林道の下にも遊歩道があり、派手な園芸種のシャクナゲが豪快に咲いている。緩やかに高度を上げていくと幕山登山口の分岐である大石ヶ原。水道施設のゲート脇から山道となる。山桜が満開だ。山も薄く色づいて目に優しい。しばらく登ると白銀林道に出る。白銀橋は少し歩いたところにあるが、沢に入るとすればこの白銀橋を下降して中尾沢に入渓するようだ。規模はそれほど大きくはないようだが、ゴルジュや滝もあり魚影もあるらしい。林道を渡りまた山道に入る。沢が出てきた。一つ目の沢を渡り、2つ目の沢が中尾沢、沢筋の道も藪っぽくなってきたのでここで入渓、沢靴に履き替える。シーズン初めはやはりおぼつかない歩きだ。ほどなく水進む10メートルほどの滝に出くわす。二俣になっており左俣の奥には細い水流の滝。この滝の右側に残置ロープがあり、それを利用して滝を巻く。すると今回の目的地である六方の滝が現れる。柱状節理の滝である。岩は黒っぽく見た目滑りそうな感じ。滝の形なんてほ



とんど覚えてないが、これはなかなか印象に残る整ったきれいな滝だ。滝上はナメ状になっており、ここで沢は終了。短かったが楽しい滝見沢ハイキングだった。

下りは林道に出る道もあるが、せっかく時間もあるので1本懸垂のやり方をおさらいしてみようということになった。振られそうな斜面でなかなか臨場感があり緊張した。帰りはど派手なシャクナゲ遊歩道を通り駐車場に戻る。



クライミングはいつも行く桃源郷へ。一仕事終わった感じで足が重い。

クライミングエリアはいつものように混んでいた。すべてのルートに取り付いているという感じ。

昼過ぎからだから仕方ないが、少し待って蟻さんルート、誰も取り付いていなかった簡単なルート、みんなが登っている間に上部にあるアリババの岩場を偵察に行くと、なんと誰もいない。これはラッキー、こちらに移動してからシンデレラフェースで1本、アリババで2本を登っているうちに日も傾き風も冷たくなってきた。人もいなくなったと思ったら、もう17時になろうとしていた。今の季節は日が長い。午後から登っても意外と登れるものだということが分かった。



充実感たっぷりの一日だった。次は基本通り遡行してみるのもいいかもしれない。もちろん岩のおまけ付きで。いや沢がおまけかな。

